

児童

児童文化センター

☎224-2548

パネルシアター

日時 5月25日(日)午後2時

読み聞かせ

日時 6月1日(日)午後1時30分

子ども映画会

日時 6月7日(土)午後1時30分

内容 英語の読み聞かせ
日時 6月7日(土)午後1時30分
内容 「にじいろのふしぎないし」
「もったいなこ」

紙芝居

日時 6月7日(土)午後2時

夏休みの小学生
幼稚園で預かり

両親の共働きなどで、学校の夏休みに面倒を見てくれる人がいない児童を対象に、卒園した幼稚園で預かりを行っています。預かる時間や負担金などは各施設で異なりますので、詳しくは問い合わせてください。
施設名・所在地など 〓 わかさ幼稚園 嶺町 ☎264-0600 (いずみ幼稚園) 女屋町 ☎261-0553 (江木幼稚園) 堤町 ☎269-0809 (駒形幼稚園) 駒形町 ☎266-2335 (あさひ幼稚園) 東片貝町 ☎261-7731 (木の実幼稚園) 粕川町室沢 ☎285-48



32
対象 小1〜小3
申し込み 各幼稚園へ

病後の子ども
一時保育します

保護者に仕事があるなどの理由で、病後回復期の子どもを家庭で保育できないとき、一時的に預けることができる病後児保育を実施しています。
日時 月曜〜金曜(祝日・年末年始を除く)、午前8時〜午後6時
場所 済生会前橋病院内デイサービスセンター(上新田町)
対象 市内在住の就学前児童
利用料(日額) 2,000円(生活保護世帯は無料)
申し込み 利用日の前日までに児童家庭課 ☎890-6269へ

育児手伝う委員会
説明会と講習会

育児の手伝いをする「まかせて会員」の説明会などを開催。事前申し込みで6歳児までの託児もできます。
日時 5月28日(水)・29日(木)、午前9時〜午後4時(29日は正午まで)

高齢者

介護予防を広める
サポーターを養成

介護予防の知識や技術を学ぶ、初級サポーター研修を開催します。
日時 ①6月19日(木)②7月17日(木)③8月28日(木)、午後1時30分〜4時30分
会場 ①は中央公民館②は東公民館③は桂萱公民館
対象 一般、①は先着100人②③は先着50人
申し込み 各開催日の2週間前までに介護高齢福祉課 ☎890-6133へ

60歳以上の人に
2つの教室開催

パソコン教室

講座名・日時 左表のとおり

パソコン教室		
講座名	日時	
パソコン入門	7月8日 ~9月30日 日の火曜 10回	午前10時~正午 午後1時30分 ~3時30分
ワード入門	7月10日 ~9月25日 日の木曜 10回	午前10時~正午 午後1時30分 ~3時30分
ワード活用	7月10日 ~9月25日 日の木曜 10回	午前10時~正午 午後1時30分 ~3時30分
エクセル入門	7月10日 ~9月25日 日の木曜 10回	午前10時~正午 午後1時30分 ~3時30分

会場 勤労女性センター(総合教育プラザ内)
対象 一般、先着30人
申し込み 5月26日(月)までにファミリー・サポート・センター ☎230-9007へ

講座を受講して
保育士に再挑戦

保育士として働きたい人を支援する講座を開催します。4回の基礎講座と3回の実習から選択し受講。詳しくは本市ホームページをご覧ください。
期日 6月6日(金)〜25日(水)の7回
会場 前橋プラザ元気21
対象 保育士資格を持っている人・目指している人など、先着各40人
費用 実習給食費
申し込み 5月15日(木)からおおどり保育園 ☎283-2299へ

子どもの救命処置
3回の講座を開催

子どもの救命処置講習を行います。
日時 6月6日(金)・7日(土)・8日(日)の3回、午前10時〜午後4時
場所 日本赤十字社群馬県支部(光が丘町)
対象 15歳以上の人、先着30人
内容 8歳までの子どもの手当て方、AED(自動体外式除細動器)の取り扱いなど

青少年

中学生の海外研修
結団式を行います

中学生海外研修事業の結団式を開催。その様子を見学しませんか。
日時 5月31日(土)午前9時30分
会場 第三コミュニティセンター(岩神町三丁目)
対象 小1〜中3とその家族、先着60人
申し込み 当日午前9時20分までに会場へ直接
〓 問い合わせは青少年課 ☎890-5874へ。

青少年の相談
午後7時まで延長

青少年相談の時間を延長。一人で悩まず、気軽に相談してください。
日時 月曜〜土曜(祝日を除く)、午前9時〜午後7時
会場 プラザ相談室(総合教育プラザ内)
申し込み 同室 ☎230-9090へ

環境衛生

地球に優しい
エコクッキング教室

食材の選び方、電気やガスの節約、生ごみの減量など環境に配慮した料理

購入費の一部を助成

生ごみ減量に努めよう

一般家庭から排出される可燃ごみのうち、生ごみが占める割合は約30%。また、その80%が水分です。焼却には多くのエネルギーが必要で、そこで、生ごみ減量のポイントを紹介いたします。
〓 余分に作らず残さず食べる
まずは、生ごみを発生させない。
〓 水切りを十分行う
どうしても出るごみは「水切り」を十分行なってから可燃ごみの日に出しましょう。調理の際に出る野菜くずなどは、三角コーナーに入れずに、直接、ごみ袋などに入れば濡れません。
〓 生ごみ処理機を使う
生ごみ処理機は、ごみの減量だ



電動式生ごみ処理機

けでなくにおいも防ぎます。本市では生ごみ処理機購入費の一部を助成する制度があります。
対象 ①電動式生ごみ処理機②生ごみ処理容器(コンポスト)
助成金額 ①は購入費の2分の1(上限30,000円)②は購入費の2分の1(上限5,000円)
〓 問い合わせは清掃業務課 ☎890-6272へ。